

昼生小だより

令和8年9月16日
No.10



↑昼生小HP

全国学力・学習状況調査、みえスタディチェックの結果より

4月に実施した6年生対象の「全国学力・学習状況調査」5月に実施した4・5年生対象の「みえスタディ・チェック」の調査概況及び児童の学習状況や生活習慣についてお知らせします。なお、それぞれの調査で測ることができるのは、あくまでも「学力」の一部、学校教育活動の一側面を示すものでしかありませんが、調査結果を一つの指標として、学校では分析・検証し、子どもたちの確かな学力・豊かな心の育成に向け、引き続き指導に取り組んでいきます。

6年全国学力・学習状況調査平均正答率		
	国語	算数
昼生小	68.0	59.0
三重県	61.0	55.0
全国	60.9	56.4

5年みえスタディ・チェック平均正答率			
	国語	算数	理科
昼生小	55.6	76.5	66.7
三重県	46.2	54.4	47.8

4年みえスタディ・チェック平均正答率		
	国語	算数
昼生小	56.0	69.4
三重県	50.6	53.2

<平均正答率の結果より>

全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率は、どの教科も、三重県および全国の平均を上回っています。また、4・5年生が実施したみえスタディ・チェックも、どの教科も三重県の平均を上回っています。そして、無回答率は低く、全員が最後まであきらめずに問題に取り組もうとする姿勢がうかがえました。

◎ 結果の要因として

- ・地域全体として、学習への支援に意欲的であり、児童もまじめに学習に取り組もうとする意識が高い。
- ・各家庭において、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣を大切にし、児童の生活や学習を支援している。
- ・学校において、少人数の授業の中で、主体的に学ぶ時間を大切にしている。などが、考えられます。

<正答率の低かった問題>

- 【6年国語】・「花山さんの文章の続き」の空欄に入る内容を、「集めた情報」から抜き出して考えが伝わるように書く問題
- 【6年算数】・表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く問題
- 【5年国語】・相手や目的に応じて筋道を立てて話すことができるかどうかをみる問題
- 【5年理科】・水の温まり方について、実験の方法が適切であったかを検討し、その内容を記述する問題
- 【5年算数】・台形の意味や性質を理解しているかどうかをみる問題
- 【4年国語】・話し合いの内容を正確にとらえてまとめることができるかどうかをみる問題
- 【4年算数】・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる問題

☆課題解決に向けて①（学習面）

- ・授業の中で、自分の考えなどを書く場面を設定する。
文字数や語句を指定して、文章を書く活動を行う。学習のふり返りの記述、国語科確認テストの活用、
- ・自分の考えをわかりやすく説明したり、人の説明を自分の考えと比べながら聞く活動を大事にする。
- ・式を立てるとき、問題の場面を図や絵、言葉に表して、その状況を説明する活動を充実する。
- ・複数の資料やデータから考えを導き出したりする学習を取り入れる。
- ・補充学習等で、既習の文法や漢字、復習プリントに取り組む。
- ・AI型ドリル（キュビナ）やプリント等を活用し、これまでに学習した内容の復習に継続的に取り組む。
- ・学調やみえスタで明らかになった苦手とする単元や内容について各学年で系統的に指導する。
- ・Kameyama Study Week 期間に、学習内容定着に向けて復習を中心に取り組む。

＜生活や学習の様子について～全国学調の児童質問紙調査結果（6年）より＞

※ 数値は、「当てはまる・している」「どちらかといえば、当てはまる・している」と回答した割合の合計(%)

質 問 項 目	本 校	三 重 県	全 国
朝食を毎日食べていますか	100	93.2	93.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	100	82.5	82.8
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100	90.8	90.7
自分には、よいところがあると思いますか	100	84.7	85.6
将来の夢や目標を持っていますか	100	81.6	83.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100	96.1	96.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	88.9	82	80.1
学校に行くのは楽しいと思いますか	88.9	84.8	85.7
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか *1時間以上の回答	55.5	45.4	49.9
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか *1時間以上の回答	22.2	10.7	11.9

○起床時刻をはじめ、基本的な生活習慣はおおむね良好です。

○「自分にはよいところがある」「将来の夢がある」「いじめはいけない」の回答が100%であり、自分を肯定的に捉え、前向きに生活している様子や正義感をもち、人にやさしく接しようとする態度がうかがえます。

○地域や社会への参画意識が、たいへん高い状況です。普段から地域の方々に支えていただき、地域と家庭・学校の連携の中で、様々な人とふれあう機会を大切にしていることの現れであると考えられます。

●4・5年生が行った「みえスタ生活アンケート」結果も含めて分析すると、学習時間（平日・休日）や読書量の2極化の傾向が見られるので、スマホやゲーム等の利用の仕方も含め、学習に集中して取り組める習慣づけに今後も取り組んでいく必要があります。

☆課題解決に向けて②（生活面）

- ・学校行事（縦割り班活動）や学級活動、児童会活動などを通して、達成感をもたせ自己有用感を育む。
- ・地域と連携した体験活動やキャリア教育を推進する。（お菓子の商品開発や歌のプレゼント、友愛活動など）
- ・個に応じた指導を心がけるとともに教育相談を定期的実施し、子ども理解を深める。
- ・PTA 活動とも連携して、子育てに関する教育懇談会を開催し、大切なことを共有する。

◎重点取組として

- ・自己肯定感を高める取り組みをすすめ、土台となる『安心して学べる環境づくり』に努める。
- ・地域と連携した活動をさらに充実させ、いろいろな人の生き方や考え方にふれる機会をつくる。
また、郷土の自然や歴史、文化から学び、自分の考え方を高めることにつなげる。